

【学校評価～令和5年12月実施～】

学校評価の結果がまとまりましたので、お知らせします。得点化は、A：4点、B：3点、C：2点、D：1点とした項目ごとの平均です4点満点です。

	教職員	得点化		保護者	得点化		児童	得点化	
		7月	12月		7月	12月		7月	12月
種かな学力の育成	1 学習規律（聞き方・話し方）を徹底し、子ども達が自ら学習に取り組む心構えをつくっています。	3.2	3.2	1 学校は、お子さんに必要な学力を身につけています。	3.5	3.5	1 学校の勉強はよくわかります。	3.5	3.5
	2 ICTの有効活用など、学習環境を整え、個に応じたきめ細かな指導をすることで、基礎学力を身につけています。	3.2	3.1				2 先生や友だちの話をどんな内容かを考えて聞いています。	3.6	3.4
	3 子ども達が、学ぶ目的や学習のねらいを意識できるように指導を工夫しています。	3.2	3.1				3 学習の計画を立てたり、ふり返ったりしています。	3.2	3.3
	4 目標に正対したまとめや振り返りを工夫しています。	3.1	3.1				4 自分の考えを、先生や友だちに伝えています。	3.3	3.3
	5 自分の考えを書いたり、それを話し合ったりする活動を重視しています。	3.2	3.1				5 自分から進んで、家庭学習に取り組んでいます。	3.2	3.2
	6 家庭学習の充実を目指し、自立した学習ができるよう取り組んでいます。	3.1	2.9						
豊かな心の育成	7 家庭での読書習慣向上を図る指導を大事にしています。	3.1	3.2	4 お子さんは、（家庭で）読書することが増えています。	2.5	2.9	6 家でも読書をしています。	2.6	2.6
	8 思いやりをもって行動ができるように指導しています。	3.3	3.3	5 お子さんは、友だちや他の人に思いやりをもって接しています。	3.4	3.5	7 相手の気持ちを考えて思いやりのある行動をしています。	3.3	3.3
	9 いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めています。	3.5	3.6	6 学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めています。	3.1	3.3	8 友だちやほかの人が、いじめと言ったら、やめる勇気・止める勇気をもってしています。	3.7	3.4
	10 異年齢の交流を通して、人と関わる喜びや集団の一員としての自信や誇りを体感させています。	3.4	3.7	7 学校は、異年齢の交流を通して、人と関わる喜びや集団の一員として自覚する取組をしています。	3.2	3.6	9 他学年の子どもとも協力して活動しています。	3.5	3.7
	11 「あいさつ・返事・言葉遣い」を全教職員が一貫して指導しています。	3.2	3.0	8 学校は、「あいさつ」や「返事」「言葉遣い」の指導をしています。	3.7	3.6	10 「あいさつ」や「へんしん」、「いいねいな言葉づかい」をしっかりとしています。	3.7	3.6
種かな体の育成	12 体力の向上を図るための環境を整え、運動の日常化につなげるよう取り組んでいます。	3.5	3.4	9 学校は、進んで運動したり、遊んだりして身体を動かす機会をつくっています。	3.6	3.5	11 進んで運動したり、遊んだりして身体を動かしています。	3.7	3.6
	13 給食指導や学級指導、家庭科の学習を通して、食育を推進しています。	3.3	3.4	10 学校は、食べ物や食事に感謝の心と食事のマナーについて指導しています。	3.5	3.4	12 食べ物を大事にする感謝の心をもち、食事のマナーに気を付けています。	3.7	3.6
	14 生命や健康の大切さや病気を予防する意識を育てています。	3.5	3.3	11 学校は、生命の大切さについて指導しています。	3.5	3.5	13 生命を大切にしようとする行動をとっています。	3.9	3.8
	15 交通安全指導、避難訓練、防犯指導、パス指導、下校指導を行い、子どもの安全を守り、自分の身を守る能力を身につけています。	3.7	3.5	12 学校は、安全教育（交通安全、避難訓練等）を積極的にを行っています。	3.7	3.6	14 地震・火事・不審者など危険なことから、自分の身を守る行動を分かっています。	3.9	3.8
その他	16 子ども一人ひとりを大切にし、よさや可能性を引き出した。悩みや問題を解決できるよう努めています。	3.4	3.5	13 学校は、子ども一人ひとりを大切に、悩みや問題を解決するために努力をしています。※教育相談や個別面談等	3.4	3.6	15 先生は、あなたの話を聞いたり、相談のつてくれます。	3.8	3.8
	17 懇談会や個人面談、お便り等を通して、保護者との連携を適切に図っています。	3.5	3.2	14 学校は懇談会や個人面談、お便り等を通して、行事や子ども達の様子をわかりやすく説明しています。	3.7	3.8	16 おたよりを家の人にきちんと渡しています。	3.5	3.6
	18 スタートカリキュラムや学びの系統性を意識して、教育活動に取り組んでいます。	3.0	3.1	保護者のみなさまには、児童数でお答えいただき、約74%の方に回答いただきました。また、約42%の方がオンラインで回答してくださいました。					
	19 教員としての力量を向上させるために、積極的研修に取り組んでいます。	3.0	3.1						
	20 学校は、服務規律が日常的に遵守されています。	3.2	3.6						

<アンケート結果を受けて（改善案等）>

1 確かな学力の育成

①学力の向上について

○子どもにとって、ICTの活用が日常的になってきました。より効果的な活用ができるよう教職員も学んでいきます。

○学力の定着は、学級と児童個々の定着度を踏まえ、児童自らが取り組み方を決めたり、繰り返し取り組むなど工夫して学習します。

②考えを伝えることについて

○考えを伝え、友だちの考えを受け取りながら考える学習は重要です。今後もペアや友だちと考えを交流する学習を継続します。

③学習の取組方や家庭学習について

○宿題や自学の取組に高まりが見られます。子ども自身が自ら課題解決する力がつくよう、子どもと相談しながら、キーワードや学習用語を用いてまとめるなど取組のレベルアップを図ります。

2 豊かな心の育成

④読書について

○3年間で初めて保護者評価が上がりました。学年が上がるに伴い、読書時間が減少し、全く読まない子どもが増える傾向があります。図書だよりの発行等を通して、学校と家庭の両方で読書の大切さや意義を考える機会を設けていきます。

⑤思いやりのある行動・いじめの未然防止

○自分から挨拶することは成果が見られます。相手の発言や気持ちを考えた行動はレベルアップが必要です。「相手意識」をもち、今の言動は適切だったかを振り返る工夫をします。また、縦割りの取組は、次年度も大切な取組として位置づけます。

3 健やかな体の育成

⑥体力向上

○体を動かす習慣はついてきています。グラウンド開放時期を早めるなど、様々な遊びや動きに取り組めるよう努めます。

4 全体を通して

自ら進んで取り組んだり、友だちと協力する姿が多くみられます。学校の取組等をご家庭に伝える工夫が必要と考えます。次年度も、学校と家庭が、子どもの成長を支えるパートナーとして、情報共有を大切にしながら教育活動を進めます。

<記述を受けて（改善案等）>

①学習発表会について

・お子さんの上演を近くで見ていただくために「上演学年優先席」を設けています。当日は、スムーズに譲り合って利用していただきましたが、優先席に座れない方がいらっしゃったのだと思います。優先席が増えると保護者席が後ろになってしまうこともあります。次年度に向けて、どのような在り方がよいのか検討します。

・社会の変化や多様化が進む中で、学校教育に求められる内容が変わってきています。また、授業と行事の時間や育む力のバランスをとりながら教育活動を進めることが求められています。そこで、本校では、昨年度より、日常の学習成果を発表する学習発表会として実施しております。歌が多く感じられた方もいらっしゃったことを踏まえ、発表内容が偏らないようにしたり、事前に取組の意図（同じ歌でも、学年によってねらいが異なる。）をお知らせするなど、どのような工夫ができるかが検討します。

②給食について

・給食の時間は、準備や片づけを分担したり、食事のマナー等を学んだり、食べることを楽しむ大切な時間です。また、学校生活を送る時間設定は、スクールバスや給食車の時間等も踏まえる必要があります。時間が不足して食べきれなかったことがあったのではないかと思います。時間内で食べることができるように、準備等をスムーズにできるように努めて参ります。

【保護者記述より】

【学習発表会】

- ・上演している学年の親が座る座席が足りなくなる学年がありました。両親のみが前方に座れるようにするか、優先席を増やした方がいいと思います。
- ・どの学年も歌が多かったので、劇だけなどの学年もあっていいと思います。
- ・コロナ前のような学芸会が良いと思います。劇、音楽、ダンスなど、1つずつに分けてほしいです。

【給食】

- ・給食時間を5分でも良いので長くしてください。食育の意味がないように感じます。下校時間が5分遅くなると、大切なことだと思います。